

風と共

発行所
関西ダクト工業協同組合
大阪市北区神山町79番地
(山名ビル)
電話 (312) 0488・5508番

主な記事

- 2面 本年度の役員と委員会
構成。中小企業組合の歴史④。組合のあゆみ。
- 3面 「初心不忘」菅本博。
「たわけぬこと」畑中武
- 4面 「昔も今も」花松操。
「昔の職人気質」今井直巳。

盛大に通常
総会開く

難局へ団結で対応

全八議案を可決承認

定款 公共工事を共同受注 変更

本年度の通常総会(第二回)は、去る五月二十四日(火)午後二時半から改装成った北野大和屋を会場に開催されました。昨年のそれがあいにく雨に見舞われたのに引き換え、雲一つない五月晴れに恵まれ出席率も好調。熱気あふるる議事に、また盛大な宴会に組合の団結の強さを存分に発揮しました。

当日は、定刻二時半、二長あいさつ。議長には一任した。十七人(うち委任状五人)を受けた司会者から、内外の出席で開会。菅本副理事長熱学工業所の河合社長が指長の開会宣言に続いて理事名され直ちに議事に入りま

経済事業の伸長を

坂東理事長あいさつ(要旨)



敬しい環境下で総会を迎え得た幸を共に喜び合う次第です。昨年度を振り返って、金融事業を除いてはほぼ年初の目標が達成でき各位のご理解ご協力で役員一同謝意を表します。皆さんに本日は、何よりも各位の利益に直接、間接につながると信ずるからです。保全強化を問題にされる向きもありますが、これも目下のところ致し方ない措置とご了承願います。

厳しい環境下で総会を迎え得た幸を共に喜び合う次第です。昨年度を振り返って、金融事業を除いてはほぼ年初の目標が達成でき各位のご理解ご協力で役員一同謝意を表します。皆さんに本日は、何よりも各位の利益に直接、間接につながると信ずるからです。保全強化を問題にされる向きもありますが、これも目下のところ致し方ない措置とご了承願います。

専務理事から詳細な報告説明が行われ、花松監事の監査報告があり、原案通り可決しました。

菅本副理事長から詳しい説明があり、原案で可決されました。

借入金限度3億円

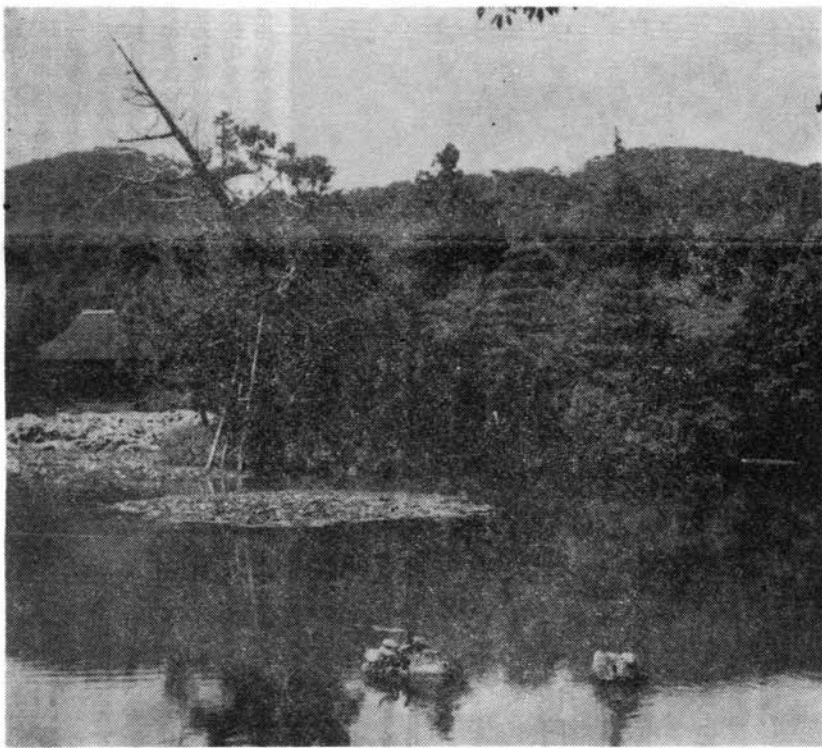
金融事業規約を一部変更

賦課金は年4回分割で

濱田副理事長から提案の通り、年四回(三カ月ま

菅本副理事長から詳しい説明があり、原案で可決されました。

- 第二回通常総会次第
- 第一部(会議、開会午後二時半、春秋の間、司会||事務局長)
 - 1、開会の辞||菅本副理事長
 - 2、理事長あいさつ||坂東理事長
 - 3、点呼
 - 4、議長選出
 - 5、議事
 - (小憩・喫茶)
 - 6、懇談、協議(開始)
- 午後四時半)
- 発題者||坂東理事長、濱田副理事長、菅本副理事長、各委員長
 - 質疑、討論
 - 事務局よりの依頼連絡
 - 8、閉会の辞||畑中理事
- 第二部(懇親宴会、開宴午後六時、潮の間、進行||杉本理事、吉川監事)



京都・竜安寺の池(有川金蔵氏撮す)

菅本副理事長から詳しい説明があり、原案で可決されました。

関西ダクト工業協同組合・組合員

《50音順》

- 板脇工業(株)
- 栄和工業(株)
- 小川鋳金工作所(株)
- 大島工業(株)
- 関西設備工業(株)
- 岸田鋳金工作所(株)
- 共和設備工業(株)
- 神戸ダクト工業所(株)
- 三輝工業(株)
- サンコー工業(株)
- 三和製作所(株)
- 信和温調(株)
- 新光設備工業(株)
- 杉本工作所(株)
- 西濃工業所(株)
- 大都工業(株)
- 桃陽鋳金(株)
- 東伸工業(株)
- 内外熱学工業所(株)
- 畑中鋳金工作所(株)
- 花松設備工業(株)
- 橋本ダクト工作所(株)
- 平本鋳金工業所(株)
- 双葉製作所(株)
- 牧鋳金工作所(株)
- マツダ工機(株)
- 三好板金工作所(株)
- 森本鋳金工業所(株)
- ヤブサ工業(株)
- 淀川空調(株)
- 吉川ダクト(株)

「三委員会制」を敷く

新理事に安西章夫氏選ぶ

第七号議案「委員会規約一部改訂の件」
濱田副理事長からの提案説明があり、原案通り決定しました。
この結果、本年から委員会は次のように統合強化されました。
総務金融、教育厚生、および工事資材の三委員会制。第八号議案「役員補欠の補充」
欠員理事の補充が完了したのに伴い、過日所管庁へ届出を行った本年度の新役員は次の通りとなりました。
理事長 坂東正治
副理事長 浜田政義、菅本博
専務理事 宗保操
理事 畑中武兵衛、森本重二郎、杉本博昭、堀井一夫、今井直巳、安西章夫
監事 花松操、吉川英和



宗保事務局長の司会で総会進行

かねて準備のプログラムにより、幹部役員三氏から順次発題が提言され、また新任の各委員長からも本年の抱負や就任あいさつが述べられ、これをもとに肩ひじ張らず自由な質疑や協議を行う手はずでしたが、時間不足で割愛、最後に事務局長からの諸連絡事項があり、畑中理事の閉会宣言で第一部を終了しました。
このあと会場を潮の間に移し、前日竣工の大和屋自慢の大流を眺めながら第二部懇親宴に移り、心ゆくまで盛況を極めて午後八時に自由解散しました。



なごやかなふん困気で、いいムード、の宴会

本年度の委員会構成

新規約に伴い、本年度の委員会編成は次のように決まりました。(順不同・敬称略)
▽総務金融委員会 委員長 杉本博昭、副委員長 今井直巳、委員 三輝工業、榮和工業、(有)西濃工業所
▽教育厚生委員会 委員長 森本重二郎、副委員長 吉川英和、安西章夫、委員 関西設備工業、岸田飯金工作所、サンコー
▽工事資材委員会 委員長 畑中武兵衛、副委員長 堀井一夫、委員 板橋工業、共和設備工業、小川飯金工作所、三和製作所、飯金工作所、マツダ機械、三好飯金工作所
▽新設設備工業、東伸工業、内外熱学工業所
▽川空調、(有)神戸ダクト工業所、大都工業、平本飯金工業所、ヤブサ工業
▽教育厚生委員会 委員長 森本重二郎、副委員長 吉川英和、安西章夫、委員 関西設備工業、岸田飯金工作所、サンコー
▽金融審査会 (理事長 他六名) 益資金の転貸調査
▽18日 第十八回理事会 (理事長 他十一名) 各種届出書、議事録、連帯保証書作成
▽8日 教育厚生委員会 (委員長 他五名)
▽9日 工事資材委員会 (委員長 他六名)
▽16日 建設省へ定款一部変更の申請書提出
▽17日 連合会の第四回理事会、於東京第一ホテル、理事長、事務局長出席
▽ダクト協同組合協議会発足
▽18日 大阪通産局へ定款変更の申請書提出

組合のあゆみ

52年4月1日 - 6月18日

- ▼52年4月
 - 1日 五十二年度スタート 常務会 (理事長他三名)
 - 5日 第三回連合会理事会 於東京第一ホテル、理事長、事務局長出席
 - 9日 総務委員会 (濱田委員長他三名)
 - 14日 理事長、事務局長中金へ、佐藤新次長に挨拶
 - 15日 第十六回理事会 (理事長他七名)
 - ▼5月
 - 6日 常務会 (理事長他三名) 現金決済方式について各登録業者と個別協議
 - 10日 公共事業の労務費調査を専務理事受講
 - 17日 中金橋本氏ご来訪、懇談
 - 19日 健保、年保の特別適用の申請
 - 21日 名古屋ダクト工業協組第十四回総会、祝電贈呈
 - 23日 大阪中央会第三十二回総会、委任状出席
 - 24日 当組合第二回通常総会 (本文参照) 第十七回理事会 (理事長他十名)
 - 25日 近畿ダクト工業協組第八回総会、菅本副理事長代理出席
 - 28日 金融審査会 (理事長他六名) 益資金の転貸調査
 - 31日 税務申告と納税
 - ▼6月
 - 3日 第十八回理事会 (理事長他十一名) 各種届出書、議事録、連帯保証書作成
 - 8日 教育厚生委員会 (委員長他五名)
 - 9日 工事資材委員会 (委員長他六名)
 - 16日 建設省へ定款一部変更の申請書提出
 - 17日 連合会の第四回理事会、於東京第一ホテル、理事長、事務局長出席
 - ダクト協同組合協議会発足
 - 18日 大阪通産局へ定款変更の申請書提出

中小企業 組合の歴史

前述の制度によって各地・各業種ごとに準則組合が次々に設立されたが、悲しいことに、これらは法律に根拠をもたせなかったために、何かと都合な面が生じたため、当然のことながら組合の法制化運動が起き

同業組合準則 明治十七年に農商務省通達

シリーズ その④

ることとなりました。そして明治三十年には、重要物産同業組合法によって定められます。即ち「重要輸出品同業組合法」です。当時のわが国の産業は、ようやくぼつこ期を迎え、海外への商品輸出も盛んになろうとしていたのですが、粗製濫造品が多く信用を失うケースが少なくなったので、この対策が主目的でした。しかし濫造の弊害を正すには、ひとり輸出のみではよはず、国内の需要品についても同様であることとなり、三年後には、重要物産同業組合法によって定められることとなります。新法による制度の特色は、検査事業を中心とする取り組みを強化することが必要であるとして、その面を規定を整備し、実行しようとした点です。即ち自治的・産業警察的な規制をその重要な任務として、一方経済事業・営利行為は一切禁止しています。このようにして同業者の組合は、この明治三十三年の法律によって確立、以来五十年の長きにわたって商

業の秩序の規制の役割を果たしました。他方、一部に業種別の組合制度が見られたことは、ご記憶の方もありません。今まで眺めたような歴史をたどった同業組合の流れとは別に、産業組合の出現を忘れてはなりません。産業組合こそ今日の協同組合の原点とも申すべきもので、明治三十三年に同法の制度をみています。特色の主なものを列記すると
①組合員の産業または経済の発達を図る。
②信用、販売、購買、利用の四種類
③非課税、出資制とする等であって、その名称が分野において活用しうる程度で、商工業すべてに利用が期待されたのですが、事実は農業者にかぎられ、農業協同組合の実態を示すこととなりました。そして、このことが、かえって商工業者を圧迫し、その事業活動を制限するところから、のちに、いわゆる商工業者間に反産運動をひき起こし始め、時代はやがて昭和に入るのである。
昭和前期の組合制度
第一次世界大戦が終結し大正九年の反動恐慌を経て長期的な不況に入るともに、中小工業の振興策の本格検討が始まることとなります。そして、その方策として協同組合制度の活用が、いくたびか農商務省において練られるのですが、何分にも当時の中小工業界における最大の弊害は依然、粗製濫造問題であったため、統制の要求が強くなり、このためには、単なる協同組合の機能では不十分だとする空気が支配していました。やがて関東大震災の発生は、一気にこの対策が迫られ、のちの工業組合法や貿易組合法、商業組合法へと発展の足取りをたどることとなります。この三組合は、ともに同業組合的な面としては、1、設立に一定数以上の同意が必要
2、一地区に一組合のみ認められる
3、検査、取り締まり等の統制を行っていると同時に等を持っており、同時に他方、協同組合的な面としては
1、出資制、購買や金融事業を主体
2、議決権の平等、加入脱退の自由
3、干渉の自由
があげられました。この両面の矛盾を調整するため、背景に持たせるのです。このことから、当時における統制時代に相応する組合制度であったとみる向きもあり、中間組合と位置づけるのもムリからぬことでしょう。それでは後にできた組合制度と比べて特に異なっただ点は何かでしょうか。それは
1、組合員の貯金の受け入れを認めていた
2、例外として二個以上の議決権も認めていたことなどです。
このように三組合は、若干の違いはあっても、とにかく共同の経済行為と業界の統制という両面の事業運営によって遂年その設立数を増していったのですが、やがて質的にも一大変化の時を迎えるのです。(つづく)

ダクト工事の安全を保障する……組立保険
従業員災害補償に……労災上乗せ保険

主な営業種目

火災	積立	総合	住宅	総合	店舗	総合
自動車	長期	火災	休業	補償	運送	送行
自動車	自賠	賠償	傷害	責任	旅費	盗難
建設	工事	機械	賠償	責任		

関西ダクト工業協同組合指定店……………いしづえ保険事務所
担当一川井敦夫 TEL365-1592
同和火災海上
担当……………大阪支店営業2部1課
TEL 203-5381

*安心を設計する……………

亜鉛メッキアングル製フランジを取付けた
NPファブリダクト-FL 略称 N.F.D-FL

ファブリダクト・シリーズにフランジを取付けた『ニッパンファブリダクト-FL』はダクト組立工程の短縮・省力化を大中に推進した画期的な製品です

発売元
日本鐵板株式會社
大阪支店 大阪市東区大川町1(日土地淀屋橋ビル)
TEL 大阪 (06) 203-5691(大代) 〒541

初心不忘

菅本 博

教厚委員会で機関紙の編集を相談するたびに、是非載せて欲しいときまっています。この簡単な修整も満足に出来ないため、出来上がりがはすべて機械のせいにして、自分の技量や努力の不足は一向に自覚が見えませんが、また、フランジの直角の狂いを直せる人も近來少なくなりました。ダクトのネジレを見ないでリベットカシメをし、そのまま平気で吊り込みをします。前述のようなことに注意し、直すすべをマスターできれば、きれいなダクトを作れるのは決して難しいことではないのですが...

「風と共に」の本紙に、是非協力せよといわれ、委員さんのご苦勞は、よくよくわかっていながら、文才のない丹波の山猿。たつてのお言葉に、丹波の山合いで祖先の土地を守ってくれている兄のもとへ安心して暮らして帰れる。たわけにならずに済んだことを喜びつつ、天理教・山本先生の一言をおかりしました。たわけ者というものは、人をのしる言葉である。ほかたれか愚か者、しれもの等々、言いは色々あるが、たわけ者は、わけても途方がなくて大それたバカという含みがあるような気がする。この「たわけ者」の語源だが、そもそもいわれは、田を分ける人の愚かさやあざむくところからきたものだそうである。も

業界に対する注文(反省)ですが、他方、設備会社の番頭(現場員)さんにも、ここであえて苦言と申しませうか、私たちの側でいかにきれいなダクトを製作し、り込みしても、それを見て正しく評価する能力のない人が最近多くなったように思われますが如何でしょうか。

この番頭さんも、昔はまた実に優秀な方がおられました。即ち、図面の書き方、寸法の決め方、はんばい、寸法図でも、ダクトが寸分の狂いなく、うまくおさめるところが出来るような図面を書く方が何人もおられたが、最近はそのようなものが稀になつたように思います。これは先輩各位の指導よろしきを得ないのか、若い方々の不勉強なのか原因は不明ですが、とにかく私共を指導して下さい。お願いは私一人ではなからうと思ひます。

随想「生きざま」一題

杉本博昭

石にかじりついていても何部下が何人かいたが、その兵の中から五人が選抜されて城壁を登って城攻めすることになりました。早瀬、兵が選ばれた。五人のうち四人までは優秀な兵であったが、最後の一人は日頃から何をしてもへまばかりでうだつた上から、小な戦いではあつたが、若き藤吉郎に比べては彼自身の命運をかけた城攻めであった。敵を目前にしたが、頑強な抵抗を続ける守勢の堅さに、どうにもこうにも出来ないはめに、ついに、敵の堅さを、どうにもこうにも出来なかつた。この大事な時に何故あがき選ばれたのか。人々には最後までその選ばれた意を汲みとることが出来なかつたが、彼を選んだ武將と大将藤吉郎は知っていた。いとも

八起、プロの職業人として自分の完成に励むことは、いつの時代、どこでも大切なことでは無いが、大切なことには間違いがないと信ずるのすが如何。もち論それは、あなたご自身のためです。 (関西設備工業 社長)

「人間最後は勝負だ。男は死にざまが大切だ。お前は、この小弥太をバカだと笑っていた。確かに小弥太は最後の土壇場でも大きな失敗をした。しかし堀に落ちた時に小弥太は生き残った。浮かじりたことよりも、われわれと同じ心意気で、わが大將のために一命を捨てて堀底の石にしがみついた。死んでいったのだ。もし小弥太が浮かんでいたら、その水音でこの勝利はなかったのだ。小弥太は石にしがみついた死んでくれた。その苦しみで耐えることは、並みの覚悟や決心で出来ることではないぞ。したがってこの戦いの第一番の手柄は小弥太である。よい、今日よりは、われわれの大将を天下人にするために、右にかじりついても勝つて行くぞ」並みいる兵たちは勝利の喜びと共に小弥太の心意気と大將の思いやりに初めて涙するのだった。 もう一つの話は、あの有名なギリシャの、今は亡き大富豪、海運王オナシスの話である。彼のもつ巨大な富とその権力は、ギリシャ富と国家の法律を左右させたといわれるくらいにまで、彼の死の前倒しに倒れている。彼

たわけぬこと

＜故郷を偲びつ＞

畑中 武兵衛

「風と共に」の本紙に、是非協力せよといわれ、委員さんのご苦勞は、よくよくわかっていながら、文才のない丹波の山猿。たつてのお言葉に、丹波の山合いで祖先の土地を守ってくれている兄のもとへ安心して暮らして帰れる。たわけにならずに済んだことを喜びつつ、天理教・山本先生の一言をおかりしました。たわけ者というものは、人をのしる言葉である。ほかたれか愚か者、しれもの等々、言いは色々あるが、たわけ者は、わけても途方がなくて大それたバカという含みがあるような気がする。この「たわけ者」の語源だが、そもそもいわれは、田を分ける人の愚かさやあざむくところからきたものだそうである。も

通したものである。そういう図式の中から「田分け者」は出なかつたわけだ。ところが親も子もバカたれがそろって、残った八反の田地を三人の息子に等分して与えたとしたら、どんなことになるだろうか。三人が三人とも立ち行かないのは、田畑(山林も同様)は、田畑(山林も同様)は、持ち歩き、移動させたりするの、売った方がましだ。自活できないような田んぼなら、売った方がましだ。田に商売をはじめても、田に定住して農耕とか山仕事に手を出さず、計算しかできぬ頭で、はうまくいかない。その段になると、何ももたらわずに早くから都会へで奉公でたきたあけた丁稚上がりの方がたしかである。物や金は、ある程度まといと思われぬかも知れないが、なかなかどうして、こ

こので最も大事なことは、田畑(山林も同様)は、持ち歩き、移動させたりするの、売った方がましだ。自活できないような田んぼなら、売った方がましだ。田に商売をはじめても、田に定住して農耕とか山仕事に手を出さず、計算しかできぬ頭で、はうまくいかない。その段になると、何ももたらわずに早くから都会へで奉公でたきたあけた丁稚上がりの方がたしかである。物や金は、ある程度まといと思われぬかも知れないが、なかなかどうして、こ

南での おくつろぎに 串カツ みき 一品料理 双和産業株式会社 本社 大阪市東淀川区下新庄町2丁目248の9 電話 大阪(06)328-7286(代) 8234(代) 営業所 大阪・福岡・宮崎・富山・大分

昔も今も

花松 操

元和元年、今から三百六
十三年前、徳川家康が豊臣
秀頼と戦い、大坂夏の陣の
戦いで大坂城が陥落した
後、天下を取った話は、皆
さんご存じのはず。その
戦いの時、徳川に味方し
て勝利に貢献した大名は、
家康より恩恵を受けて、ゆ
たかな国を治め、大平の世
に甘んじていたそうです。
しかし、豊臣方に味方し
て戦った大名たちは、報復
を恐れました。家康は諸大
名の軍資金の蓄積を防ぐた
め難工事、難問題を強要し
て、出来ないとなれば旗本
八万騎でお相手と脅し、財
政難に苦しむ外様大名は、
押し付けられた難工事を家
名と領民のために、節約と
蓄財の供出でやり通したと
聞きます。

外様大名たちは、資金調
達のため、領民には重税と
安い賃金で労働させ、また
徳川の重臣には、いろいろ
手を使って資金の流出を防
ごうとしました。わが身の
保全を考へるあまり、外
様大名同士が中傷、誤報
と、人様の首を締めること
を考へ、醜い争いが絶えな
か

また家康のように
「泣かぬなら、泣くまで
まとう、ホトトギス」
と才覚に優れ、人の弱点を
にぎり、相手の力が弱くな
るまで時の来るのをまつて
も、三百年の昔ならともか
ら、今の時代には取り残さ
れて、膨大な借財を抱え、
幾多の人たちに迷惑をか
け、倒産の憂き目を見て、
従業員とその家族に辛苦の
思いをさせることになるで
しょう。

そので皆さん、徳川三百
年続いた権勢を、誰が大政
奉還させたかです。そうで
す。九州の雄、薩摩と、島
津の連合軍です。
皆さん、徳川三百年の長
きにわたって国を治めた徳
川は敬服します。しかし、
その徳川時代の中で貧苦に
耐え、力を蓄え、徳川時代
に終止符を打った薩長連合
の見事な信頼と統制力こそ
見習うべきだと思います。
発足して三年足らずの私
たちの協同組合ですが、不
景気の今の時期にこそ薩
摩、島津のように育て上げ
ようではありませんか。苦
しい時こそ努力と、心から
の真の協力が必要なので
す。相手に対し、変な下心を
もって接すれば、必ず相手
も黒い影をもって接してき
ます。協同組合も十人十色

でなく、薩長に勝る一國一
城の主になれるのです。
泣き、たのしい時には共に
笑ってこそ、真の笑顔と疑
心のない人の和が生まれて
くるものと信じます。
全国ダクトの連合会も発
足した今、全組合員が一丸
となって力を合わせ、権威
と秩序をそなえた立派な協
同組合を作り上げたいもの
です。その時こそ外様大名
でなく、薩長に勝る一國一
城の主になれるのです。
泣き、たのしい時には共に
笑ってこそ、真の笑顔と疑
心のない人の和が生まれて
くるものと信じます。
全国ダクトの連合会も発
足した今、全組合員が一丸
となって力を合わせ、権威
と秩序をそなえた立派な協
同組合を作り上げたいもの
です。その時こそ外様大名

情報ダイジェスト

◇企業能力評価に新基準
中央建設業審議会が進め
られている建設業振興の基
本方針の骨格が浮かび上が
った。中でも注目されるの
は、企業体質の改善を進め
るために四十二万の許可業
者を機能面で総合工事業、
専門工事業、および木造建
築業に区分し、それぞれに
応じた基盤の強化策を考へ
ている点。また生産体制の
整備面では、発注制度の改
善策として①機能別の資格
審査②分離発注、異業種間
のJVなどがあげられている
。同審議会は、さらに企
業合理化小委員会が研究を
続け、夏までに中間報告を
出す意向である。

◇許可制度の見直し
中央建設業審議会の総会
において現行の建設業許可
制度の見直し意見が出され
た。これは建設工事の公共
性、大衆性が極めて高いた
め社会的使命が重要である
ことから建設業者の①信用
②技術③施工能力を高め、
資質向上を図るよう建設業
法の適切な運用と時宜を得
た執行を求めたもの。この
場合予想される措置として
は①許可要件の強化②適用
除外工事の引き上げ③適用
があるが、内容としては
一般建設業の財産的基礎、
または金額的信用として通
達で示している自己資本額
の引き上げをどうするか
注目されよう。

◇手形の短縮要請
長谷川建設相は先般、日
建連など業界六団体長と懇
談したが、この際、元請・
下請関係を適正にし、未端
まで景気対策をゆきわたら
せる必要から、重ねて下請
代金として支払う手形サイ
トをできる限り短くするこ
との徹底を要請した。
◇建設委員会の中間報告
衆議院の建設委員会は去
月、低成長経済下における
中小建設業の振興について
の中間報告を政府に提案し
た。その中で
①公共工事の契約におい
て規模によっては随意契約
の活用②JVの活用には中
小同士の組み合わせに留意
③元請・下請関係の適正化
には公共工事に新標準下請
約款の普及④建設業振興基
金の保証は知事認可の法人
団体にも与える⑤前払保証
会社の運営の公正化のため
指導・監督を強化し、中小
建設業者向けの融資業務も
検討を求めている。
◇建設省の実態調査
建設省は共同請負制度一
JVの適正な運用を図
り、改善に資することを目
的にJV制度の実態調査を
行うことになった。
この制度は最初、米国で
発達し、わが国には戦後活
用されることになったが、
漸次建設工事量の増大に対
処、中小建設業の施工力の
応用が必要となったため十
五年前、中小建設業の振興
対策から、そもそも建設省
が指示したものが原型。こ
のように建設省方式のJV
制度のネライは中小対策で
あったが、その後順次手直
しが増えられ、留保条件付
きながら大手と中小との共
同請負活用の指針が打ち出
された。しかし、形式上は
大手、中小間の編成とはな
っていないが近時、実際には
大手のみが施工、中小はマ
ージンを取るという、いわ
ゆるペーパージョイントの
発生が増加するなど本制度
に疑問を持ち議論的とな
ってきているので、この見
直しに反映させるため調査
にのりだした。

昔の職人気質

今井直巳

私の頭が、まだ黒髪で
覆われていた昭和十年頃
のお話です。その頃、ダ
クト職人といえば大阪で
何人、広島で何人とかい
って数えられるほどしか
ない時代でした。もち論
大きなビルの建設も少な
く、元請け会社も大阪電
気、朝日工業、理化
学興業、建材社という具
合で数も限られておりま
した。その頃は、元請け
ダクト屋とも相互に助け
合いの仕事を進めており
ました。私も建材社の職人
さんたちとも皆仲良くお
つき合いをしたもので

覆われていた昭和十年頃
のお話です。その頃、ダ
クト職人といえば大阪で
何人、広島で何人とかい
って数えられるほどしか
ない時代でした。もち論
大きなビルの建設も少な
く、元請け会社も大阪電
気、朝日工業、理化
学興業、建材社という具
合で数も限られておりま
した。その頃は、元請け
ダクト屋とも相互に助け
合いの仕事を進めており
ました。私も建材社の職人
さんたちとも皆仲良くお
つき合いをしたもので
外からはなかなか入り込
めないう自然に決まっ
てきました。
私の先輩は「第一は仕
事に惚れ、第二は女房に
惚れ」と、よくいつてお
りました。私もこれに習
い、実行し、清く正しく
美しく、と心掛け、現在
も幸せな日々を過ごして
おります。
世の中の諸事、あまり
景気の良い時代ではあり
ませんが、こういう時代
こそ、いつも豊かな気持
ちでお互い協力し合い、
希望のある社会をつくり
たいものです。
(信和温調機 社長)

ミノルタの光学技術から生まれた鉛直指示器。誰でもカンタンに「墨出し」ができます

ミノルタ 鉛直指示器
オプトマーカ

特許出願中

光学的に高精度な
鉛直墨出しができます
熟練の必要がなく、一人で
カンタンに操作できます
きわめて使いやすい
設計です

製造元 ミノルタカメラ株式会社

総代理店
湯浅金物株式会社
大阪支社
大阪市東区八幡町6番の1
日本生命御堂筋ビル
電話 大阪(06)213-1831(大代表)
542 テレックス 522-2227